大阪自治体問題研究所

緊急出版

ブックレット

## 地域や暮らしはどうなる？

# 大阪都構想を考える

## 橋下市長はなぜ大阪市を解体したいのか

―「廃市政策」の「大阪都」構想



**森　裕之**

（立命館大学教授）

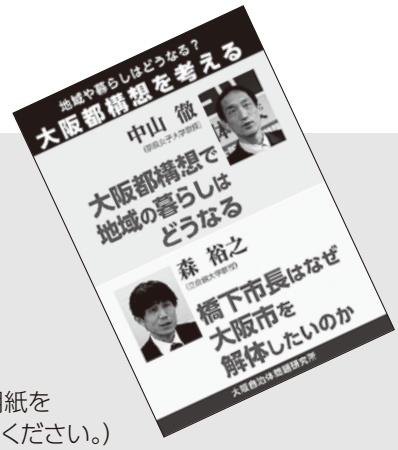
## 大阪都構想で地域の暮らしはどうなる

―大阪再生への道筋



**中山　徹**

（奈良女子大学教授）




A5 判 48 ページ／フルカラー

**頒価 1部 300 円**

10部以上のお求めで
1部 250円にさせていただきます。

（送料は実費。また、お届けの際に、郵便払込用紙を
同封させていただきますので、それでお支払いください。）

お申し込みは ――

**大阪自治体問題研究所**

**FAX. 06-6354-7228**

TEL. 06-6354-7220

E-mail oskjichi@oskjichi.or.jp

〒530-0041　大阪市北区天神橋 1-13-15
大阪グリーン会館 5 階

下の申込書に必要事項をお書き込みのうえ FAX または郵送でお申し込みください。

| | | |
|---|---|---|
| 部　数 | 部 | 年　月　日 |
| お 名 前<br>（団体名） | | |
| （団体の場合）<br>ご担当者名 | | |
| お届け先 | 〒 | |
| ご連絡先 | TEL. | 備 考 |

# 「大阪都構想」を考える一助に

この小冊子は、2014年２月16日に開催された『「橋下行政に異議あり」市民シンポジウム』での森裕之立命館大学教授、及び２月22日に開催された『福島区のまちづくりと都構想を考えるつどい―福島区地域自治体学校』での中山徹奈良女子大学教授の各講演をもとに、両先生に加筆修正いただいたものです。

**小誌の内容（目次より）**

## 中山　徹

### 大阪都構想で地域の暮らしはどうなる
― 大阪再生への道筋 ―


1. 大阪都構想とは何か
   - 大阪都構想の内容
   - 大阪都構想、二つの目的
   - 財源の捻出手段=二重行政の解消
2. 幻と消えた 4000 億円
   - 過大試算だった財源捻出効果
   - 過小試算だった必要経費の算定
3. 財源の捻出方法
   - 公共財産の切り売り、民営化
   - 特別区の財源を略奪
4. 大阪の再生に向けて進められていること
   - 復活した大型公共事業
   - さらなる規制緩和
   - 世論誘導と推進体制づくり
5. 大阪都構想で大阪経済はさらに悪化する
   - 経済低迷の原因は消費不況
   - 大型公共事業の効果は限定的
   - 規制の緩和で無駄な投資が拡大
6. 大阪都構想で市民向け施策は削減される
   - 市民向け予算の削減
   - 民営化で市民サービスが低下
   - 肝心な業務が一部事務組合に引き継がれる
7. 大阪再生への提言、緊急に必要な対策
   - 大阪都構想を止める
   - 雇用破壊の規制
   - 生活支援の拡充
   - 民主主義と参加の保障
8. 大阪再生への提言・長期的対策
   - 生活基盤の再生／経済の再生／自然と歴史の再生
   - 地域レベルでの平和交流
9. 大阪再生への道筋
   - 1970年代の革新統一
   - 大阪都構想=新自由主義的な地域の再編成
   - 2010年代=地域統一


## 森　裕之

### 橋下市長は なぜ大阪市を解体したいのか
― 「廃市政策」の「大阪都」構想 ―


- 橋下・維新の会の改革「一丁目一番地」
- 「大阪都構想」は大都市の廃止・分割・内部団体化
- 嘘で説明された「大阪都構想」は民意ではない
- パッケージ案と出直し選挙
- パッケージ案がしめす「大阪都構想」
- 特別区のメリットなるもの
- 「大阪都構想」の現実の論理
- 新たな広域自治体に仕分けられる大阪市の事務の例
- 制度矛盾としての一部事務組合
- 職員体制
- 「市政改革プラン」の下での大阪市の実態
- 大阪市の財産と債務はどうなるのか
- 財政調整制度
- 詐欺的な効果試算
- 「大阪都構想」の問題点
- 大阪市会各会派からの批判
- 「大阪都構想」と道州制の矛盾と嘘
- 世論の支持の低下
- 大義なき「大阪都構想」



一般社団法人 **大阪自治体問題研究所**
〒530-0041　大阪市北区天神橋 1-13-15 大阪グリーン会館 5 階
TEL. 06-6354-7220 ／ FAX. 06-6354-7228
E-mail : oskjichi@oskjichi.or.j ／ URL : http://www.oskjichi.or.jp